

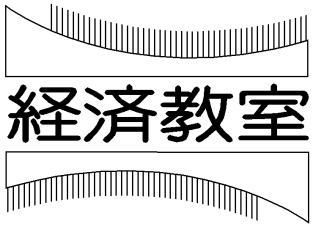
ポイント

●日本の中小企業、中長期的構造問題抱える
 ●特定企業に依存せず、新たな連携構築必要
 ●「つながり力」の実態把握・分析をさらに

植杉 威一郎 一橋大学准教授

景気後退で中小企業の景況感が厳しさを増している。原材料価格の高騰や需要低迷で収益が圧迫され、金融機関の貸し出し態度が厳しくなり資金調達に苦しむ企業が増えている。だがより深刻なのは、短期的な景況悪化を超え、十年二十年単位の大きな問題が中小企業に起きてきている点だ。

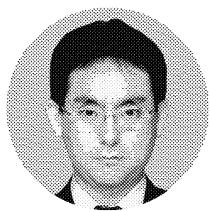
第一に企業数の減少が止まらない。総務省「事業所・企業統計」によれば、一九九六年で五百九万社あった中小企業は、二〇〇六年には四百二十万社と八十九万社も減少し



経済教室

中小企業、顧客数増加でも収益拡大せず

「つながり力」の向上不可欠



を生むという意味で、今年六月の政府の「経済財政改革の基本方針(骨太の方針)」にも盛り込まれた言葉だ。企業をはじめとする個々の経済主体にとり、誰とどのように関

たかに研究者の注目が集まった。企業金融でも、金融機関が企業との長期的な関係から得られる情報に基づいて貸し出しなどを行うリレーショナルシップバンキング(地域密着型金融)という概念が脚光を浴び、理論的・実証的な研究が数多く行われてきた。

◆◆◆
 中小企業と大企業の間、金融機関と中小企業の間のリレーショナルシップが正常に機能していれば問題ないが、現

金融機関と関係強化

情報提供面で公的関与も

実はそうなっておらず、つながり力の不足が示唆される。

◆◆◆
 第一に、企業間の取引関係に注目してみよう。企業の販売先数、仕入れ先数は近年増

数が多い企業の売上高伸び率が高くなっているかどうか調べた。上表を見ると販売先企業数が増えると概して売上高伸び率が高まっている。ただし販売先数がある水準に達すると売上高の伸長は止まり、それ以上増えると逆に企業成長を押し下げる業種もある。特に製造、運輸、サービス業では、売上高増加につながる販売先企業数の上限が四一九社程度とかなり小さい。これらの産業では、販売先を増やす行為が企業成長を阻害しやすい。企業間のつながりに中身が伴わない場合があるわけだ。

◆◆◆
 第二に、企業と金融機関の関係はどうか。中小企業一社当たりの取引金融機関数は増えているが、両者の関係には内実が伴っていない。

◆◆◆
 近年、中小企業では、安定的に資金を調達するために、多くの金融機関と同時に取引する傾向が見られる。〇七年中小企業白書によると、中小

企業約一千五百社の取引金融機関の数は〇六年時点で五年前の〇一年に比べ一・五行増加している。信用金庫などで数多くの合併が進み、金融機関数が減少する中でも取引金融機関数は増加している。

◆◆◆
 つながり力が築かれた反面、企業と金融機関のリレーショナルシップを反映した貸し出しが行われているわけではない。例えば内田浩史・和歌山大学准教授によると、金融機関との取引期間が長くても、中小企業は借り入れがしやすくなったり、借入金利が低下したりするという意味での恩恵にはあずかれない場合が多いという。最近頻繁に報道されている貸し渋りも、これまでのリレーショナルシップが有効に機能していない結果と理解することができよう。また筆者の分析によれば、信用保証協会による信用保証の提供には、深刻な貸し渋りに直面し

ていた中小企業の資金繰りを助ける上で一定の効果があった。公的な関与が効果を持つこと自体が、企業と金融機関の間におけるつながり力の不足を意味している(いずれの研究とも、渡辺努・植杉威一郎編著「検証 中小企業金融」、〇八年九月所収)。

◆◆◆
 つながり力は、経営資源に限りのある中小企業の今後を左右する。それだけに、つながりの質を高める企業側の努力は不可欠だ。この点で海外特にドイツの輸出型製造業中堅企業(Mittelstand)の取り組みが参考になる。売上高は数百億円程度で知名度は低い、それぞれの分野で世界トップレベルのシェアを持つこれらの中堅企業は、代理店経由ではなく顧客との直接のネットワークを築き、潜在的な需要を素早く製品に反映させる点に特徴がある。

◆◆◆
 企業など様々な経済主体間におけるつながり力の実態を詳しく把握・分析することも必要だろう。過去と比べ現在の企業間関係はどんな点で問題があるのか、大手企業の海外移転や倒産など急激な環境変化が起きるとつながり力がどう変化するかなど、データの活用で明らかにできる課題は数多い。今年十月から、渡辺努・一橋大学教授を代表者として、持続的成長を可能にする産業・金融ネットワークのあり方を実証するプロジェクトが始まった。今後、経済主体間の多様な関係にかかわるデータを整備した上で、つながり力と経済活動のあり方に関する新たな知見が出されるのが期待される。

◆◆◆
 つながり力」とは聞き慣れないが、自立した経済主体同士の連携が新たな付加価値